

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

Table with 2 columns: 進自力! 西富, 【実感】, 【共感】, 【主体性】. Content includes goals like '体験的な活動の充実を図り、実感を伴った理解につながる学びを目指します。' and '自分とつながる様々な人やものとかかわりながら、自分のよさを実感する力を育てます。'

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

Table with 2 columns: 実感する力 共感する力 主体的に取り組む力, 具体化した資質・能力. Content includes '人・ものと関わろうとする姿勢 思いや考えを伝え合う力' and '主体性・積極性 よりよい社会の実現を目指す態度'.

中期取組目標

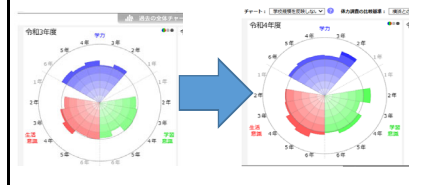
Table with 1 column: 〇「自分の成長を実感しながら主体的に学ぶ子の育成～学び方の工夫と教師のみとりの改善～」を目指し、授業改善を進めます。 〇3年間を通して、どの子どもも安心して自分らしさを発揮し、学ぶ楽しさが実感できる授業づくりに取り組みます。 〇3年間を通して、子どもの考えを生かしながら、協働して主体的に問題解決をしていく授業づくりに取り組みます。 〇子どもたちが自他のよさに気づき、思いやりの心をもってよりよい人間関係を築こうとする姿勢を育てます。 〇3年間を通して、身近な自然や様々な人とかかわり、本物に触れる活動や体験を大切に、心豊かな学校生活を送れるようにします。

学力向上アクションプラン

Table with 2 columns: 重点取組分野, 具体的取組. Content includes '授業改善' and '重点研推進' with goals like '①重点研のテーマを「自分の成長を実感しながら、主体的に学び続ける子の育成」とし、社会科・生活科を中心に、子どもの考えを見取り、子どもの思考を大切に...'

学力向上に関わる本校の状況

横浜市の学力学習状況調査の結果では、学力、学習意識、生活意識上、概ね横浜市の平均をどの学年でも若干上回っている傾向が続いている。 学年が上がるとともに学力の向上がみられる。 学力調査では、どの学年も横浜市の平均よりも学力層が高い割合が多く、学力層が低い割合が少ない結果となっている。 本校の特徴として、学力層が高くて、「学習することが好きですか」という調査と比較していくと、好きと嫌いの割合が二分する傾向がほとんどの学年でみられる。 学習に進んで取り組み、進んで考えたり、発表したりしているという項目が他と比べて、ネガティブな自己評価している層が一定層いるのは、発言をしていない子や、表現が得意ではないと捉えている子がいることを捉えることができる。 全体的に昨年度と比べて、平均値が上昇している。これは、昨年度までの研究や職員の先生方の努力の結果だと捉えることができる。特に、下がっていた学年が上昇傾向に転じたり、学習意識の向上もみられた。 学習意識調査の中で、全体的に横浜市の平均を若干上回る傾向にあるが、それと同時に学校教育目標の「主体性」に関わる分野で、課題がみられる。これは、学校評価アンケートとも重なる傾向であり、1年間通して抱えている課題と考えられる。



今年度の目標

授業改善、指導力向上に取り組むことで、子どもが自分の成長を実感しながら主体的に学び続ける子の育成を目指す。また、問題解決学習を通して、知識を獲得する深い学びを実現した学力の向上を目指す。

目標を実現するための具体的行動プラン

Table with 2 columns: 上半期, 下半期. Content includes '重点研究の取組' such as '社会科・生活科を重点教科として取り上げ、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。' and '学んだことの価値に気付くメタ認知能力の育成を...'

豊かな心の育成推進プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野, 具体的取組. Content includes '道徳教育' and '担当 道徳推進教師・道徳部' with goals like '①全教育活動の中でふれあいや体験活動を重視し、自他を大切に...'

豊かな心に関わる本校の状況

本校は閑静な住宅街の中に位置している。同居、あるいは身近に祖父母が住んでいる家庭が多い。 また、家庭や地域からは、学校の教育活動に対して高い関心と大きな期待が寄せられている。家庭の社会規範意識も高く、児童への期待も大きい。 子どもたちは高齢者や下年齢の子に対して優しい心遣いを感じられる。 好奇心旺盛で、学習に取り組む意欲は高く、いろいろな活動に積極的に取り組もうとする。 自分たちの力で話し合いを通じて問題解決していくことに課題がある。 令和3年の横浜市学力・学習状況調査の生活意識調査の結果から、「人と話したり、聞いたりすることがすきだ」「自分にはよいところがある」「自分からあいさつをしている」と回答した児童の割合が低く、自己肯定感やコミュニケーション力にやや課題が見られる。 自分の力に自信をもてない子や自己肯定感を確立できていない子が、自分の思いを相手に分かりやすく表現することが苦手なために、トラブルになることもある。 こうした中で、西富岡小学校では、友だちどうしのかかわり合いの中から得られるコミュニケーション能力や、自分で体験したもとのから確かな力を身につけてほしいと願っている。 学校生活の中においても、「多様な見方や考え方のかわり」、「友だちのかわり」、「地域とのかわり」、こうした場を意図的に設定し、子どもたち一人ひとりが互いを認め合うこと、また、自分のしていることが他の人から認められ役に立ったと感じたり、称賛されたりすることで、自分のよさを見つたり感じたりすることができるようにしていく。 子どもたち自身が、自分や、自分の考え、想いが大事にされたという経験を持つことで、他の人にも同じように接することができるようになり、人の気持ちに

今年度の目標

「進自力! 西富」をスローガンに、さまざまな教育活動の中で、進んで人とかかわりあうことを大切にする。

目標を実現するための具体的行動プラン

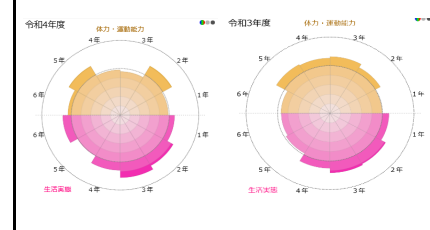
Table with 2 columns: 上半期, 下半期. Content includes '道徳科の取組' such as '教材を活用し、道徳教育の要となる道徳の時間の指導を通して、子どもが道徳的見方・考え方を、感じ方を多様に広げ、自分事として学んでいくようにする。' and '他教科での取組' such as '別業を活用し、学校の教育活動全体を通して行う道徳教育と各学級の道徳の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。'

健やかな体の育成プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野, 具体的取組. Content includes '健康教育' and '担当 体育・保健・食育' with goals like '①体力テストを分析して、本校児童の課題を明確にしたうえで、運動委員会の活動や学校保健委員会等を通して運動を習慣化することを目指す。' and '②縄跳びタイムを計画的に実施し、楽しみながら運動する習慣を身に付け、体力の向上を図る。'

健やかな体に関わる本校の状況

高学年になるにつれて、体力・運動能力や生活実態の項目が下降していく傾向がある。 「何時くらいにねますか?」の項目で、横浜市全体と比較して睡眠時間が短い傾向がある。 新体力テストの結果より、走の運動が低い傾向にある。 体育の授業では、場の設定を工夫して、運動量を確保しようとしている。 休み時間は外遊びをする児童が多いが、個人差があり、内遊びに偏る児童もいる。 給食は、好き嫌いを減らしてしっかり食べるように指導しているが、学級または個人により差がある。 保健学習では、自分の生活と関連付けて見つめ直す機会を設けている。 学校保健委員会での活動を生かして、学級や自分の生活習慣を見直す機会を設定している。 学区には大小様々な公園があり、放課後体を動かす遊びをする児童もいるが、習い事等で遊ぶ回数が少ない児童もいる。 地域には、ソフトボール、サッカーなどのスポーツクラブがあり、運動が好きな児童が所属している。また、スイミングスクールに通う児童が多い。 睡眠、食事、歯磨き等、多くの児童は健康的な生活習慣が身に付けられている。



今年度の目標

運動の習慣をつけることを通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることにより、体力の向上と心身の健康の保持増進を図る。

目標を実現するための具体的行動プラン

Table with 2 columns: 上半期, 下半期. Content includes '体育科の取組' such as '運動に親しむ態度、自己の健康のために主体的に課題解決する力を育む。' and '他教科での取組' such as '心身ともに健康な生活を実践する態度を育む。' and '特別活動' such as '各児童会活動で、健康に関する企画を計画し、全校で健康に対する関心を高める。'